



第1グループ 20人

(日野小5人・延徳小8人)
(・豊井小4人・永田小3人)

街灯を増やしてほしい



倉石 龍 議員
(延徳小)

《質問》 街灯を増やしてほしい理由は、小学校・中学校帰りの人たちの通る道には街灯が少ないことです。それに街灯を増やすことで不審者対策にもなると思います。特に増やしてほしいところは、細い路地や曲がり角です。それで交通事故が減ると思います。それに街灯が消えはじめているのがあるので、取り替えてほしいです。

《答弁》 池田市長

通学路などに街灯を増やすことは、皆さんが住んでいる地区の区長さんが中心となり、皆さんの要望を取りまとめて進めています。このほか、市では、白熱電球をLED電球などに替えることも推進しています。また、街灯が消えている場所を見掛けたら、家の方を通じて、地区の役員さんに連絡をしてください。すぐに取り替えてくれるはずです。外が暗くなると、街灯の明かりがあっても、危ない場所もあるので、交通事故や犯罪に遭わないように注意していただき、一緒に安心で安全な中野市にしていきたいです。

各教室にクーラーを設置してほしい



宮澤真奈 議員
(豊井小)

《質問》 教室にクーラーを設置してほしい理由は3つあります。1つ目は、夏は涼しく冬は温かくして、健康を維持することができからです。2つ目は、適した温度で生活すると、学習するときに、より集中することができからです。3つ目は、扇風機やストーブだと、スペースをとりますがクーラーだとスペースをあまりとらず、教室を広々と使えるからです。

《答弁》 小嶋教育長

市内にある15の小中学校では、どの学校にも保健室とコンピュータ室にはクーラーが既に設置されています。また、現在順番に、たくさんの方が使用する図書室や、窓を開けて授業することが難しい音楽室へクーラーを設置しているところとあります。しかし、市内15小中学校全ての教室にクーラーを設置するとすると、多額の費用が掛かります。今後は、学校施設の老朽化に伴う大規模な改修工事等に併せるなど、各教室へのクーラー設置を検討していきたいと考えています。

キノコの中野市をもっと有名に



西澤水希 議員
(永田小)

《質問》 ぼくは農業が大好きです。そんな農業の中でも、中野市はキノコ栽培で有名です。もっとアピールするために、栽培できるキノコを増やし、ジコボウやムラサキシメジなど、雑キノコといわれるキノコも栽培できたら、より有名にできると思います。さらに、キノコを使った名物料理やスイーツを開発して食べられるようにしたい。したら、街全体がキノコでより元気になっていくと思います。

《答弁》 池田市長

雑キノコを栽培品目とすることについて、ジコボウは人工栽培が難しいとされており、ムラサキシメジの栽培は、大量生産が難しいとされています。雑キノコについては、天然で採れる時期が決まっていることが魅力であり、価値があるとされていると考えています。ご提案いただいた名物料理とスイーツの開発については、専門的な事業者と連携し開発が進められており、開発に関する取組みを支援するほか、産地からの情報発信を進めていきたいと考えています。



第2グループ 20人

(日野小4人・延徳小9人)
(豊井小4人・永田小3人)



子どもたちが安心して
過ごせる遊び場を



脇田 琉々 議員
(日野小)

《質問》 私の家の周りには、神社や記念館などがありますが、子どもたちが遊べる遊具や施設はありません。唯一、遊べるのが東山公園や学校のグラウンドです。遊べるといっても、遊具などはとても少なく、長い時間過ごせません。私たちも安心して過ごせる公園が近くにあったらと思っています。

《答弁》 池田市長

市内には、地域ごとに都市公園という公園が20カ所、農村公園のほか、公会堂の庭などに市や各区などで遊具を設置している広場が遊び場として考えられます。遊具が多くあるのも魅力の一つだと思いますが、遊具の少ない公園で友達と工夫して遊ぶことも良いことだと考えています。また、公園は、親子とのふれあいの場であったり、緊急避難場所としても、大事な所だと考えています。今の段階で、新しい公園を造ることは難しいので、今ある公園をより安全に安心してご利用していただけるよう、維持管理に努めていきます。

道にゴミをたやすく捨てる
人がいなくなるような工夫を



徳竹 芽 議員
(延徳小)

《質問》 私たちの小学校では、月に一度、ゴミ拾い登校を行っています。ですが、やった次の日にもタバコの吸い殻や、空き缶などのゴミが落ちています。このような状況が日常的に続いているという現実を、ゴミを捨ててしまう人に知ってほしいです。それと同時に、ゴミを捨てる人が出したゴミを、子どもたちが拾っているという現実も知ってほしいです。

《答弁》 池田市長

徳竹さんが言うとおり、ゴミのポイ捨ては、依然として後を絶ちません。市でも、各地区の役員さんと協力して、定期的にパトロールを行い、ゴミを回収したり、ポイ捨て防止の看板を設置しているほか、学校や地域の皆さんが街をきれいにするためにやっている活動について、広報なかのなどでも紹介しています。ポイ捨てをしている人に、自分が捨てたゴミをほかの誰かが苦労して拾っていることを、もっと知ってもらえるように、今後もいろいろな機会を通じて紹介できればと思っています。

タブレットを一人1台
使えるようにしてほしい



稲田 藍 議員
(豊井小)

《質問》 タブレットを一人1台使えるようにしてほしい1つ目の理由は、高学年になると教科書が増えとても大変ですが、タブレットがあると教科書や資料が少なく、とても便利です。2つ目の理由は、図やグラフや写真などを簡単に見ることができ、3つ目の理由は、友達がタブレットを使う通信教育をやっている、課題が効率よくできるのでとても便利です。

《答弁》 小嶋教育長

タブレット端末については、平成26年度から、順番に10台ずつ整備を始めています。稲田さんのご提案のように、一人ひとりに合った課題ができることもタブレットを使った学習の利点です。しかし、一人に1台ずつタブレットが使えるようになるには、電波が混線して使えなくなってしまうなど、いろいろな問題も考えられます。まずは少ない台数でも、友達と協力しながら使ってもらい、タブレット学習の良さを研究をして、将来は一人1台で学習できることを考えていきたいと思っています。

